

## 2019年度第5回阿波おどり実行委員会

開催日時 令和元年9月6日（金） 15時～

開催場所 徳島市中央公民館 302会議室

出席者 実行委員会委員6名（代理出席2名、欠席者1名）運営協議会2名  
事務局6名 事業体5名

### 1 開会

### 2 代理出席者及び欠席者紹介

### 3 議題① 2019阿波おどり開催結果について

#### 【委員長】

今年の阿波おどりの開催について、ひとかたならぬご尽力を頂きました実行委員の皆様、また事業体の皆様に厚く御礼申し上げたい。特に事業体は、わずか4ヵ月という短い期間にも関わらず、当初の理念である、「皆で盛り上げる阿波おどり」、そして「安心安全な阿波おどり」というこの2つの理念は、十分に実現できたと思う。

そして、第3番目の理念である、明白な情報開示をしていくということで、その点について、事業体自ら阿波おどり事業を検証していただき、また実行委員会もそのことについて検討を行う。今年の阿波おどりはどれだけの人出だったのか、事業体の運営はどうであったかという、そういった検証の第一歩として、今日の実行委員会を開催したいと思う。また来年の阿波おどりを成功させるための必須の課題でもあるので、それに向けた準備をいかにしていくか。この点についても時間の許す限り検討していきたいと思う。

#### 【事務局】

資料1 2019阿波おどり開催結果概要について説明

#### 【委員長】

先ほど申し上げたように、かなりの人出はあったが、反面チケット販売状況は無条件で素晴らしいとは言えない両面がある。今後これについては検討していくべき課題ではないかと思っている。

今の説明の範囲で意見等はないか。

（意見なし）

### 4 議題② 2020阿波おどりについて

**【事務局】**

資料2 2020阿波おどりの開催に向けてについて説明

**【委員長】**

早速、2020年のスケジュール説明をいただいたが、これは来年の運営に向けて既に事業体は準備をされていると思う。この件に関して意見等はあるか。

(意見等なし)

意見等ないようなので、開催日程は令和2年8月12日から15日と決定し、詳細については今後評価委員会での議論を踏まえた上で、決定するというところでよろしいか。

(異議なし)

5 その他

**【A原委員】**

8月の阿波おどり開催時期は毎年、台風や豪雨等が発生しやすい。この時期を変更することができないと思うが、自然災害を避けて通ることができなくなれば、もしも災害に見舞われても最小限のマイナスで済むような計画を立てておくべきではないかと思う。

阿波おどりが年数を経て拡大してきたため、相当無駄な部分もあると思う。栈敷の保管に関しても、必要がない物もかなりあるのではないか。それを整理するだけで、スペースが空き圧縮できるのではないかと思う。

全ての面で見直し、無駄を省いてコストを抑えるという必要があると思うがどうか。

**【事務局】**

収益の確保と同じように経費の削減は非常に重要であると考えている。昨年度は事務局で運営を担い、様々な取り組みを行ったが、まだまだ不十分な点もあると思う。その辺りは事業体も本年度の阿波おどりを運営して、課題を見つけていると思うので、今月末頃には事業体から決算報告、事業の詳細報告も頂けると思うので、色々な指摘や事業体からの提案も出てくると考えている

**【A委員】**

提灯について、14日、15日は阿波おどり中止に伴い真っ先に東船場の通りの方から外していったと思うが、あのような場所に提灯は必要ないのではないか。南新町や中州にも提灯が設置していると聞いている。そういうこと1つ捉えても、阿波おどり事業の中にはたくさん無駄があるのではないか。全てを確認しているわけではないが、提灯に関してはそういう事が言えると思う。阿波踊りの本来の良さを維持できればそれで良いように思う。

**【委員長】**

詳細な議論になるので、また別の機会に議論したいと思う。提灯はたくさんあった方が賑やかで良いという意見もあるので、事業体と相談して詰めていきたいと思う。

**【B委員】**

今年度の阿波おどりは13日で終わりになったが、14日に東新町商店街に踊り連が踊り込んで来た。踊っていただくように推奨していたが、警察が来て、阿波おどり中止となった以上は、どこで踊るのもダメだという事で、ちょうど踊っていた踊り連は東京からわざわざ来ていた連であった。あるところで確認をしたところ東新町商店街は踊ってもいいと聞いて、それで踊り込んで来てくれたそうである。それで警察に止められたという事で、その踊り連はご立腹されていた。その辺りを来年の課題として考えていただきたい。

#### 【事務局】

事務局職員も現場にいたが、なかなか難しい問題である。14日の状態で言うと、中止の判断は決して間違えてなかったと思う。そうした状況の中で、運営主催者である実行委員会として警報が出ている中で踊る場所を確保するというのが果たして良い事かどうか議論があるかと思う。この辺りは、もう少し時間をかけて警察とも協議しながら事務局でも案を練って考えていきたい。

#### 【委員長】

最後に事業体から、A委員からの意見を踏まえて現在述べられる範囲で意見をいただきたい。

#### 【事業体】

事業体としては、良い経験をさせていただき、ある意味で阿波おどりを本当に自分たちの仕事として体感する事ができた。本当に皆様のご協力に心から感謝申し上げたい。

来年以降の事を考えなければいけない。興行としてチケットを売って、経費を出して、お祭りをするという考え方をどのように興行的に収支を合わせていくのかということが1点。未来の阿波おどりの踊り連の育成をどうしていくのが良いのかということが2点目。地域や商店街の振興の為にどう阿波おどりを役立てたら良いのか、こらからの阿波おどりはどういう姿が良いのかという、この3点に重点をおきながら、来年どうしたら良いのかという事を真剣に考えている。事務局と今後打ち合わせしながら、実行委員会に提言申し上げたいと考えている。

#### 【委員長】

本日の議論も全て終えたので、以上を持って第5回阿波おどり実行委員会を終了とする。